

## 神奈川県環境農政局長賞

### 「田うえのパートナー」

厚木市立依知小学校

3年 笹生 崇史

今年の春も、家族全いで田うえをしました。おじいちゃんや田うえのかんとくです。田うえきは、おじさんとお父さんがうんでんします。ぼくは苗ばこをブラシでガシヤガシヤあらうかかりで、苗ばこをピカピカにしました。おばさんとお母さんは、とんぼを使って田んぼのどろを平らにしました。田うえきではできない田んぼのすみは、全いで手で苗をうえました。手で苗をうえると、どろがぐちゃつとして、長ぐつがどろのそこまでぎゅうつと入っていきます。まるで田んぼにぼくが引っぱられていくような感じがします。

今年にはキヌヒカリとハルミをうえました。ハルミは初めてうえたので、どんな味のお米ができるのか、今からとても楽しみです。二つのお米を食べくらべてみようと思います。

ぼくが田うえの時に楽しみなのは、カエルと遊ぶことです。カエルとぼくは友達なので、トノサマガエルやアオガエルを何ひきもつかまえて、ジャンプさせたりおいかけたりして、いっしょに遊びます。アメンボもいます。アメンボは水の上をスイスイすべっています。ぼくは生き物たちといっしょに田うえを楽しむのが大好きです。でも、田んぼのまわりにはへびもいるので、気をつけなければいけません。

田んぼには色いろな生き物たちがいっぱいいて、面白いです。生き物たちは田うえのパートナーです。生き物たちがいないとお米が元気に育ちません。ぼくはこれからもずっと田んぼの生き物たちと田うえをしていきたいです。